

地元産で復興を！～アイス試食会～

11月22日、街なかギャラリーで開かれていたみふね地域食堂・子ども食堂で御船町農家を中心となって開発しているアイスの試食会が行われました。このアイスは震災をきっかけに若手の農業後継者が集まり、地域全体の復興、町のPRなどを目的に作られています。今回、試食したのは、高木地区の酪農農家で採れたミルク味。福岡から来た宮崎祈世蘭さんは「あっさりしているけど、コクがある。何よりミルクが濃厚」とおいしそうに食べました。このアイスは、平成31年度から発売予定です。



おいしそうに食べる子どもたち



地域のかくし芸で沸く大観衆

ふるさとふれあい木倉まつり

11月23日、木倉小学校体育館で「復興」を掲げた第26回ふるさとふれあい木倉まつり（田中恵三木倉公民館長）が開催されました。「ふるさとに元気と笑顔」をテーマに開催されたまつりでは、地域の若葉保育園や木倉小児童も参加して歌や踊りの披露。恒例の各区代表のかくし芸では、それぞれの区で趣向を凝らした寸劇や踊りなどで会場を盛り上げました。祭りの最後は、空くじなしのお楽しみ抽選会も行われ、会場を訪れた一人一人が元気と笑顔で幕を閉じました。



想像力で楽しくふれあい

演劇で学ぶ～「想像力は生きる武器」

11月27日、高木小学校（田上浩輝校長・109人）で劇団きらら（池田美樹代表）による演劇を活用したワークショップを行いました。このワークショップでは、道具は使わず、『想像力』を存分に使って表現した世界を楽しみます。「想像力は生きる武器」と話す池田代表。演劇を活かしたごっこ遊びや台本なしの即興劇、想像力を使った探検などで、児童たちは楽しく想像を膨らませていました。小杉咲綺さん（3年）は「想像力を大切に、勉強などをしっかりやっていきたい」と話しました。



くまモン先生、渾身の一球！

放課後子ども教室にくまモン先生!?

11月28日、木倉小学校（岡本博文校長・134人）の3年生から6年生の放課後子ども教室に入っている子どもたちは、特別講師のくまモン先生とニュースポーツを体験しました。体験したニュースポーツは、ニチレクボール。黄色のビュット（目標物）にめがけてボールを投げ、どれだけ一番近づけるかを競います。子どもたちは、くまモン先生と楽しく投げ合い、笑顔でふれあいました。くまモン先生は「身体を動かすって楽しいモン！みんなと仲良く絆が深まったモン！」と身振り手振りで伝え、木倉小学校をあとにしました。



防災、減災を心がけましょう！

「花一筋」～農事功労者で受章

11月14日、平成30年度農事功労者として緒方鎮雄さん（滝川）が花き部門で緑白綬有功章を受章しました。緒方さんは、花き栽培の先駆者として、土壌改良や低コスト栽培技術などの指導に貢献。また、自宅庭園にバラのオープンガーデンを開放し、癒しと交流の場を提供していることなどで表彰されました。“花一筋”と語る緒方さんは「この受章は支えてくれる皆さんのおかげ。これからも花き文化のさらなる発展に貢献していきたい」と笑顔で話しました。



受章した緒方鎮雄さん（中央）



代表で協定書を交わした田上局長（中央）と藤木町長（左から2番目）

郵便局のみまもりサービスをふるさと納税に

11月19日、「郵便局のみまもりサービス」をふるさと納税の返礼品とすることに関する協定書の締結式が街なかギャラリーで行われました。このサービスは、離れて暮らす家族などを対象に、郵便局社員が毎月1回訪問し、生活状況を確認して、その結果を家族などの人たちへお知らせするものです。御船郵便局の田上拓生局長は「毎日、地域の人たちと会うことができる郵便局だからこそできること。多くの人に、このみまもりサービスの理解をいただき、ふるさと納税に協力していただければ」と話しました。



笑ってふれあう世代間交流

グリーンヒルみふねで世代間交流

11月20日、グリーンヒルみふね（吉本洋施設長）で木倉小学校の1、2年生の児童たちと世代間交流を目的とした秋の運動会が行われました。今年で4年目となるこのイベントでは、赤組と白組に分かれて、玉入れ競技やおじゃめとうちわを使ったリレー競技が行われ、施設の利用者と児童たちは勝利を目指して交流を楽しみました。参加した川上夏姫さん（2年）は「一緒に応援できて楽しかった。またおじいちゃんやおばあちゃんたちと遊びたい」と笑顔で話しました。